

環境に配慮した取り組み ～郷土種の植樹活動について～

NEXCO中日本の経営施策である「地域連携や環境・持続可能社会への貢献の推進」の取り組みの一環として「生態系保全」「地域性苗木育成」の技術を高速道路以外でも活かす活動を、名古屋市とNPOなどの方々と協議会を設立し、2009年5月から名古屋市内の公園などで自生する樹木の種や枝から地域性苗木を育て、名古屋市内の緑地に植樹し、郷土種保全に努める活動を進めています。

10月24日には高速道路以外で初めての植樹を、戸田川緑地の中央地区「郷土（ふるさと）の森」エリアで、近くの幼稚園児や名古屋市民、協議会の方々と行ないました。

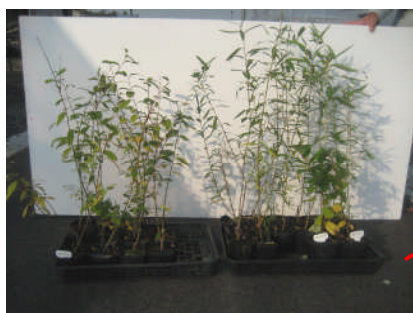


植樹の状況（2010.10.24）

11月21日（日）には、東山の森（名古屋市千種区）の大坂池周辺で、東山の森では初めての地域性苗木の植樹を、名古屋市民や協議会の方々と行ないます。

市民の方々に地域性苗木の植付けを体験していただく、良い機会と考えています。

- ・ 集合場所 なごや東山の森づくり活動拠点施設 里山の家
名古屋市千種区東明町 7-25-1
- ・ 開始時間 9時30分（午前中に作業終了予定）



植栽予定の苗木



植栽予定地

当社は今後も引き続き、地域性苗木の利用などを通じて、自然環境に配慮した道路（エコロード）づくりを推進いたします。